

# 令和元年度事業報告

## 第1 概況

シルバー人材センター事業は高齢者に生きがいと働きがいを与え、活力ある地域社会の実現に大きな役割を果たしてきているが、近年は定年年齢の引き上げ、65歳以上の高齢者が活躍する企業の増加や、シルバー類似の業務を行うNPOなどに高齢者が就業する等で、就業を希望する高齢者が県下のシルバー人材センター（以下、「センター」という。）に集まりにくくなっており、会員の拡大に苦慮している現状がある。

県下の雇用失業情勢は、有効求人倍率が1.3～1.5倍台で推移しており、就業出来る者の多くは様々な身分で働いているため、人手不足の状況が深刻になっており、新規会員が集まりにくい原因の一つとなっている。

このような情勢の下、センターでは地域の自治体からの期待が高い介護周辺業務や育児支援を中心とした業務を福祉・家事援助サービス事業で取り組みを強化する事や、軽易な介護業務（新総合事業関連）をセンターが積極的に取り組む事により一定の実績をあげる事が出来た。

受注面では、令和2年3月末での請負金額は48億5千万円程度、前年度比▲0.8%となっている。一方、派遣の契約金額を比較すると12億2千万円程度となり、前年度比5.3%の増加となった。

請負での減少を派遣が補強する傾向が続いているが、派遣で見られた大幅な拡大は縮小しており、原因として派遣事業で就業する会員の伸び悩みが考えられる。

新規会員の拡大については、各センターが最優先課題としてこれまでは実施の無かった取組みを行い、連合会でも啓発活動への支援やハローワークにおける掲示板の確保や就業情報の配布、窓口におけるシルバー事業の説明資料配布などで会員増加への支援を行った。これらの取組みから、令和2年3月末の会員数は11,083名となり、令和元年度期首に比べ281名の減少となった。前年度は期首期末比較ではプラス54名であったため、特に退会を表明する会員に対してヒアリングを行い、理由へ対応する事などをセンターに依頼して、退会抑制の取組みを行った。

新規会員を確保するには就業先の開拓が必須であり、特にホワイトカラー層の就業を促すため、従前からシルバーの得意分野である「草刈り、植木の剪定」以外の職種を確保する取組みをセンターに示しているが、就業開拓の業務は経験が不足しているため、結果は限定的である。これを今後の取組みに繋げてゆく事と、60歳台前半層の女性を積極的に勧誘する取組み、また就業先と会員のマッチング徹底がさらに重要である。

個別の事業実施状況は次のとおりである。

## 第2 事業実施状況

### 1 シルバー人材センター事業

#### (1) 安全及び適正就業推進事業

シルバー事業の運営にあたっては、「安全はすべてに優先する」の観点から会員の安全への意識啓発、事故防止対策に組織を挙げて取り組んだが、2件の重篤事故が発生した。

また、派遣就業の拡大に伴い、労働者派遣関係等の労働関係法令に沿った就業の適正化に努めた。

#### ア、三重県安全・適正就業推進大会の実施

日時 令和元年7月11日

場所 三重県総合文化センター

参加者 19センター、71名

内容 事例発表

「安全就業の徹底による事故削減」

講師 (公社)津市シルバー人材センター

事務局長 川邊 久志 氏

講演

「就業現場でのヒヤリハットを防ぐために」

講師 津地区医師会所属介護支援センター

保健師 長沼 理恵 氏

#### イ、安全・適正就業パトロールの実施

安全・適正就業対策推進委員会、センター安全就業対策推進員等の協力を得て、6センターにおいて実施した。各センターでの取り組み状況の聴取及び作業現場における安全就業確認等の安全パトロールを実施した。

実施センター名	実施日
桑名市シルバー人材センター	令和元年9月11日
伊勢市シルバー人材センター	令和元年9月12日
鈴鹿市シルバー人材センター	令和元年9月17日
熊野市シルバー人材センター	令和元年9月19日
志摩市シルバー人材センター	令和元年9月26日

ウ、平成 28 年 9 月に策定された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を踏まえ、会員の適正就業を確保するため、就業実態に応じた請負・委任または労働者派遣による契約について、センター職員、会員、発注者への啓発を徹底するよう依頼した。

エ、各センターが実施する研修会に講師を派遣するとともに、就業機会創出員研修会においても安全・適正就業の徹底を図った。

## (2) シルバー派遣事業

シルバー派遣を行う 16 センターについて、事業実績は拡大し、受注件数、契約金額とも前年度に比べ増加したが、伸び率は鈍化した。派遣に係る事務集中化については、派遣実施センター担当者を集め会議を開催し、対応を説明した。集中化を希望するセンターがあるものの、現在の課題として、派遣料金の早期回収が出来ていない事から、最優先課題は事務集中化を希望するセンターでの料金早期回収の実現が不可欠であるとした。この早期回収については、センターが問題意識を持ち、人件費である事から早期支払いを企業へ働きかけることも必要であるとの意見があった。一方、そこまでする必要は無いとする意見もあった。

高齢法第 39 条による業務拡大については、当初の計画が遅れているため、三重県担当部門に対して「高齢法第 39 条に係る業務拡大の早期指定に係る要望書」を令和 2 年 3 月 30 日付け三シ連第 253 号文書として提出し、三重県担当から各市担当者あて調査確認作業を推進いただくよう要望して令和 2 年度前半の指定に向け、連合会も各種データを提供する等必要な支援を行うこととした。

ア、派遣システムに係るセンター担当職員の研修会を実施した。

令和 2 年 2 月 12 日 場所、三重県教育文化会館、参加者 15 名

イ、派遣元責任者講習の受講

令和元年 9 月 27 日、大阪市、参加者 10 名（他会場 6 名）

## (3) 普及啓発事業

県内全域を対象に、シルバー人材センターの理念や事業内容を周知して、シルバー事業の理解と参加を求めるために、あらゆる機会をとらえて普及啓発活動を実施した。

ア、広報誌「シルバーみえ」第 37 号の発行

センターの活動内容、年間実績等を掲載し、普及活動に努めた。

令和元年 12 月 13,200 部作製配布。

#### イ、会員募集チラシ、ポスターの作成及び配布

シルバー事業について、地域住民、企業等に理解・協力を広めるとともに、会員の拡大や仕事の発注を促すため、会員募集チラシを作製配布した。

また、三重県の協力を得て県内コンビニでの会員募集チラシ・ポスターを配布・掲示することにより普及啓発を行った。

#### ウ、普及啓発促進月間及び「シルバーの日」を中心とした啓発活動

毎年 10 月に全国的に展開される「普及啓発促進月間」に合わせ、10 月 19 日(土)を「三重県シルバーの日」と定め、地域の実情に応じた美化活動・街頭宣伝活動等を実施し、地域住民に対してシルバー事業の PR を行った。県内 22 センターで会員 2,165 名が参加して、地域の学校、公園等の公共の場でシルバー旗掲揚のうえ、清掃活動等を行った。活動状況は地域のメディアに取り上げられるなどして、注目を集めた。

また、活動内容を取りまとめた冊子を作製し、取り組み内容をセンターや関係機関等に紹介した。

#### エ、広報・会員募集活動

令和元年度では県内公共職業安定所内にセンターの会員募集チラシ、就業情報の掲示スペースを設け、シルバー事業の広報・会員募集活動を行った。

また、四日市公共職業安定所が毎月開催する高齢退職者向けセミナーにおいて定例的にシルバー事業の紹介、会員募集を行った。

### (4) 就業開拓推進事業

高齢者に相応しい臨時的かつ短期的又は軽易な仕事を組織的に確保・提供してゆくため、令和元年 8 月 22 日に 19 名の参加を得て、業務担当・就業機会創出員研修会を開催し、就業開拓分野の拡大についての具体的な手法を伝達することにより就業先の増加を目指した。また、行政広報等を活用した就業開拓にも努めた。

### (5) 経験交流・研修事業

センターの役職員・会員を対象にシルバー事業の現状認識や課題等への取組みの進め方や資質の向上に係る事を目的とし、事業を行った。

ア、理事、事務局長、職員を対象とした分野別研修会を実施した。(新任理事研修、事務局長研修、会計実務担当者)

イ、全シ協主催の安全・適正就業指導員会議、福祉家事担当者会議、東シ協

開催の経験交流大会への積極的な参加を勧めた。

(6) シルバー事業未設置町の解消及び加入促進等

県内のシルバー未設置2町のうち、度会町社会福祉協議会から設置についての打診があり、具体的な設置の場合は支援を行うこととした。任意団体であるシルバー人材センターには三重県と協力して法人化・国庫補助団体への移行のための相談を受けるとともに、支援を行った。

(7) 指導相談事業

センターの円滑な事業運営を図るため、三重労働局と三重県が実施する法人シルバーの指導監査に立ち会うとともに、個別指導を9センターに対して実施した。

(8) 福祉・家事援助サービス事業

福祉・家事援助サービスの業務は、従前よりシルバーの伝統的ともいえる家事援助サービスを主体として運営しており、さらに新たな介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）に対する参加推進を行ってきた。従来型の家事援助サービスは一定利用がされているが、新総合事業では参入にあたって介護業務関係での知識・経験が要求されること、また、実際にセンターに対しての発注が限定的であるため、業務を行うセンターは一部に留まっている。このため、継続的な受注確保については今後の検討課題となっている。

こうしたことから、連合会に設置している福祉・家事援助サービス事業推進委員会では事業推進基本計画に基づき課題や改善について検討をすると共に、次の事業を実施した。

ア、「シルバーいきいきフェスタ 2019」を、会員主体で組織された運営委員会を中心に会員参加型イベントとして令和元年10月30日に三重県文化会館にて開催した。内容については、経験発表、アトラクション、パネル展、作品展示、即売会、体験コーナーのほか、「健康で生きがい満ちたシニアライフを送るために」と題して医師で登山家の今井通子氏による講演など多彩な催しを行い、参加者は454名であった。

イ、「福祉・家事援助サービス月間」の取り組みでは、12月を実施月間と定め奉仕活動を中心として各センターが工夫を凝らして実施した。

ウ、子育て支援事業の推進のため、情報提供・助言を行った。

エ、高齢者活躍人材育成事業技能講習の場で普及啓発を行うとともに、福祉家事援助サービス事業に携わる会員の拡大を行った。

(9) 有料職業紹介事業

現在 15 センターが連合会事務所として開設しているが、実際に有料職業紹介を行ったセンターは無かった。派遣労働者を対象として紹介予定派遣を行おうとするセンターが見込まれる。

職業紹介責任者講習会

令和元年 12 月 13 日、大阪市、 参加者 4 名（他会場 1 名）

2 高齢者活躍人材確保育成事業

人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進することを目的とした、高齢者に向けての積極的な周知・広報を行い、またセンターの協力を得ながら就業体験・技能講習を実施した。

(1)実績

令和元年度に実施した技能講習・就業体験は、次のとおり 9 講習を 14 会場で開催し、受講修了者数は 156 人であった。

周知・広報による入会者数も含め、目標でもある新規入会者数 95 人以上に対して 124 人となり、内就業率 30%以上に対して 70%（87 人）となり三重労働局より示された目標値を達成できた。

令和元年度高齢者活躍人材確保育成事業結果

技能講習名	実施回数	入会者数(人)	就業者数(人)
育児サポーター	1	5	3
施設調理補助	1	1	1
剪定	4	2	2
農業施設スタッフ	1		
生活支援クリーニング	3	12	9
就業体験名	実施回数	入会者数(人)	就業者数(人)

育児補助	1	3	3
剪定補助	1	1	
公園管理	1	3	3
農作業補助	1		
		入会者数（人）	就業者数（人）
周知・広報（全取組み）		97	66
合計		124	87

## (2)追跡調査

センターに協力を得て、高齢者活躍人材確保育成事業に関連した周知・広報、技能講習、就業体験による新規入会者数、及び就業者数の調査を毎月実施し、新規入会者数、就業者数の把握を行った。

## (3)企業ニーズの把握

企業別に500事業所を抽出し、企業ニーズ把握のためにアンケート調査を行うとともに、活用など検討されている企業情報を関連センターに情報提供を行った。

## (4)周知・広報活動

高齢者を対象に、新聞広告、新聞折込チラシ、ポスターの掲出、テレビ、ラジオによる広報、センター・県下ハローワーク・公共施設・鉄道（JR・近鉄）駅などのポスター掲出、三重交通バスの広告、セミナーの開催、商業施設での普及啓発に参加などを行った。

主な活動としては下記のとおりである。

ア、各種パンフレット（講習・シルバーの案内など）を制作、配布した。

- イ、各種ポスター（2種類）を制作、配布した。
- ウ、ホームページに高齢者活躍人材確保育成事業の内容をリニューアルした。
- エ、セミナーを3会場設定し、内2会場で実施した。
- オ、新聞の年間掲出を行った。また、東海4県合同による15段全面の広告と三重県独自での15段全面の広告を掲載した。
- カ、新聞折込チラシによる広報や、就業体験・講習の募集を行った。

### 3 地域就業機会創出・拡大事業

伊賀市シルバー人材センターの「伊賀市空家等維持管理サービス事業は前年度から引き続き地域就業機会創出・拡大事業」として承認され、実施しているが、これについては行政の持ち分である空家バンクが物件の回転を重視しており、シルバーには市から業務が回ってきていない。そのため、センターでは家事支援の延長とした建物の清掃、片付け、除草といったサービスを展開して、年間200万円程度の売り上げはあるものの、毎年の伸びは限定的であった。個人からの申し込みは一定あるものの、この事業をうまく活用するには、市町の空家対策事業担当者に対し啓発する事が不可欠であること、市町の動きが思わしくない場合は家事支援の業務から提案する事も有効である。